

2010年度 建築生産セミナー :「施工技術の蓄積・展開・進化(3)」

建築工事におけるコストと工期の縮減は益々厳しい状況で、現場の技術者を疲弊させている。建設業に対する一般社会の目も厳しくなり透明化が求められる一方で施工技術が取り上げられる機会が減ってきている。本セミナーでは、最新の施工技術を、その技術開発の歴史的経緯や過去に開発された要素技術が現在に至るまでどう蓄積・展開・進化してきたかを含めて紹介してもらう。

主催 建築社会システム委員会 建築生産小委員会

日時 11月16日(火) 13:00~17:00

会場: 建築会館3階会議室

内容:

1. 高支持力を確保できる多段拡径場所打ちコンクリート杭(TMB杭)工法の開発  
平井芳雄(竹中工務店技術研究所)
2. 多様な免震レトロフィット耐震改修技術  
佐藤直樹(戸田建設)
3. 高層マンション工事でのサイトPCA工法  
岩下 智(鴻池組)
4. 作業所支援情報システムの歴史と今後の展開  
組田良則(フジタ技術センター)
5. 3次元計測システムと周辺技術  
池田雄一(大林組技術研究所)
6. 3次元モデルとRFIDを用いた施工支援手法の取組み  
吉田知洋(鹿島建設技術研究所)
7. BIM-VRの連携技術とその活用  
佐藤康弘(大成建設技術センター)

参加費: 会員 3,000円 登録メンバー 3,500円 会員外 4,000円

学生 1,500円(資料代含む)

定員: 60名(申込先着順)

申込方法: E-mailにて「催し物名称、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号、メールアドレス」を明記の上お申し込みください。

申込・問合せ: 事務局研究事業G 森田 (E-mail: morita@aij.or.jp)